

# 座談会



外川秀明氏 (青年会議所)



井上久美さん (東桂中)



平井利宗君 (都留二中)

が、日本とは違うなと感じました。

志村君

歓迎会の時、市長さんの後でちびっ子を代表して英語で挨拶をした時、自分でも何を言ったのか全然分からなかった。

「グッド イブニング アメリカフレンド」だけは覚えていた。日本語で「今晚は、アメリカの友達よ、私達は姉妹都市のヘンダーソンビルに

来ることが出来て大変幸せです。」そういうような事を言

って来ました。

長田君

ホワイトハウスで、特別扱いにしてくれて、普通では見れない綺麗なレッドルームがとても印象的だった。

司会

向こうで大歓迎を受けましたが、どんな気持ちでした。

志村君

胸がドキドキしていた。ホストファミリーと合ったら、僕の黒い顔が真っ赤になって恥ずかしかった。

長田君

アメリカ人同志が話しているのを聞いているとものすごく早く話しているので、これは困ったなと思った。

平井君

こっちが一生懸命考えて喋

ると通じるんだけど、それに応えてくれた相手の人の言うことが分からなかった。

それで向こうの人が英和辞典を指で示してくれて、意味が分かったこともあった。

司会

ホームステイを通して、例えば、習慣、食事、子供に対するしつけ、考え方、接し方、など自分達と違うなと感じたところを話して下さい。

平井君

子供の勉強机もなかったし、あまり勉強もしないみたい。

城之内さん

夏休みがすごく長いのに驚いた。授業時間も聞いて見たけど通じなかった。

長田君

子供達は、親に言われたら直ぐに動くし、よく手助けをしてくれました。僕も食事の準備を手伝いました。

志村君

僕は、家ではうすのろだし、あまり動かないからよく怒られます。それに比べると向こうの子供は良くつづきます。

井上さん

とにかく緑が多くて綺麗でした。道は広く、家と家が離れて建っている。都留市とはだいぶ違うなと思いました。

私の泊まった家は、庭で乗馬ができる程の広さで驚いた。

中村団長

部屋の入り方を見て、子供でも一人前の人間として、人格を尊重しているところは、さすがアメリカだと思えます。

ね。日本の場合、子供がいくつになっても親の権力と云うか力に押さえ込まれている面

が、多分にある気がするもので、向こうでは、子供の心の中に土足で踏み込まないです

ね。その代わり、子供に対する親の威厳がすごく大きいと思います。トイレに鍵がない

ということとは、親子の間でもきちんとした礼儀をわきまえて、個人として認められていると思う。そういう部分に関しては、我々も見習わなくてはならないと思います。

佐野氏 (青年会議所)

人格を尊重されていると言うことは、子供自身もしっかりと自分でいなければならないと言

うことを言っていると思えますが、日本では親がいろいろ言うと同時に、親が面倒を見すぎている部分が多いと思

います。

司会

ヘンダーソンビル市を去る時の感想を聞かせて下さい。

長田君

機会があったら、また絶対に来ようと思った。

城之内さん

今度は自分のお金で行けるように今からお金を貯金します。

井上(博)氏 (青年会議所)

やはり、お金の代えられない経験をしてきたことが、何より得難いものです。確かに安い金額で行ってこれたと言

うことは、そのぶん向こうの人達に金銭的にも迷惑をかけていることなんです、それにもまして沢山の得る物があったと言

うことは貴重な体験です。

中村団長

団長として、市長、パターソン会長と共に抱き合せて、See You Again

と言った時涙が溢れてたまらなかつた。しかし、今度あの方々が都留市に来た時、我々もそこまで真心を込めてできるかどうか、その責任の重さを感じている。

司会

何か感じていることありますか。

井上さん

この経験を無駄にしないいろいろなことに役立てたいと思います。

長田君